

HG
GUNDAM SEED

©2001-2004 BANDAI

SEED
DESTINY

ZAKU WARRIOR (LIVE CONCERT VERSION)

ZGMF-1000

1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM SEED-25



HG
METAL
DESIGN



HG
GUNDAM SEED

ZAKU WARRIOR (LIVE CONCERT VERSION)

ZGMF-1000 ザクウォーリア (ライブコンサートバージョン)

1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM SEED-25



Scanned by Dalong.net



▼1/144 scale
ミーア・キャンベル



MATERIAL

ザクウォーリア
型式番号: ZGMF-1000
全高: 17.18m
重量: 73.09t
武装: MMI-M833
ビーム突撃銃
MA-M8
ビームトマホーク
手榴弾
(ハンドグレネード)

Scanned by Dalong.net

ZAKU WARRIOR (LIVE CONCERT VERSION)

軍隊に於けるパレードや閱兵式の花形の一つは戦車や装甲車両の行進や戦艦機によるアクロバット飛行である。ザフトや地球連合軍も例外は無くMSが正式採用後、様々な式典に機体を登場させている。それどころかザフトはジンをアレンジし、「式典用装飾タイプ (GINN DECORATED TYPE FOR CEREMONY)」なる特別仕様のMSを造りだしていた。彼等はこの他にも猛将アンドリュー・バルトフェルトを「砂漠の虎」として喧伝するなど連合に比べてプロバガンダの面に於いても秀でていたようだ。(連合の場合、失態を補正する為に「エンデュミオンの翼」を造り出すなどネガティブな事例が多い。後の連合エースパイロット陣は第三者が基間に流布したものが主である。)その流れを考えれば、この機体に塗られ半ばポストアート化されたザクウォーリアの存在も突拍子の無いことでは無い。しかし、センスの無い思しはともかく、一介のアイドル歌手のコンサートに(戦場空間ではあるにしろ)最新鋭機を舞台装置として使用するのにはシャレを語り超してはいないだろうか?いや、ラクス・クラインという少女はコーディネーターにとって、単なる「歌姫」のレベルを遙かに超えた存在になっているのだろう。なおザクの投入(あの無茶な塗り替えには現場の人間もかなりの抵抗があったようだ)も含めて大がかりな舞台演出には総務マネージャーである「キングダムKED」氏の意向が大きかったようである。

ミーア・キャンベル

第二次ヤキン・ドゥーエ攻防戦後、姿を消した歌姫ラクス・クライン。その彼女が約2年の沈黙をやぶり突如として舞台上に復活したのは、コーディネーターとナチュラルが再び手を交えた直後であった。しかしデュランダル最高評議会議員の意思を代弁するかのように市民に訴えかけた少女には大きな秘密があった。

ミーア・キャンベルという少女がどういった運命を経てギルバート・デュランダルと出会いラクス・クラインの影武者となったのかは定かではない。それどころか彼女が何者かということすら判ってはいない。ミーア・キャンベルという人生を捨て他人の人生を歩むことに何を得る真価があったのか?全ては歌声の彼方である。そして偽物が本物と出会うときに何が起きるのか?ただ一つ、彼女がコーディネーター世界の行く末を担うキーパーソンであることは間違いないであろう。



ラクス・クライン

前ブランド最高評議会議員シーゲル・クラインの娘。モラを助け、フリーダムガンダムを与えたためザフトを倒れることに。東でられるメロディーは人々を勇気に導くのか?

SHIELD

盾シールの貼り方



※貼る向きに注意してください。



※シールの合わせ目が3本のスパイクの中心に向きます。



BODY & SHOULDER



マーキングシール②

マーキングシール③

マーキングシール① マーキングシール④

※マーキングシールは写真の位置を参考に貼って下さい。

MARKING

Scanned by Dalong.net

ZAKU WARRIOR

「ZGMF-1000 ザクウォーリア」は連合・プラント間で交わされた停戦協定「ユニウス条約」の締結後に開発されたMS群「ニューミレニアムシリーズ」の1カテゴリーである。元々ザクの雛形となったMSは前大戦の末期に開発計画が進んでいた。即ちフリーダム、ジャスティスを完成させた統合設計局が次に目指した、核エンジン搭載型量産MSである。事実、第2次ヤキン・ドゥーエ攻防戦終結後に試作機は完成していたのだが、ユニウス条約の条項の一つである「軍事目的でのNジャマーキャンセラーの使用禁止」に抵触する為に限の目を見ることは無かった。しかし、動力源以外にも高いポテンシャルを有していたこの機体本体はZaft Armed Keeper of Unity="ZAKU"へと引き継がれることとなった。

ザクウォーリアは後に開発されることになったインパルスガンダムにおけるシルエットシステムの設計思想を先取りしており、バックパックの換装により様々な戦況に対応することが出来、カタログスペックではGAT-Xシリーズを凌いでいる。まさに栄光あるコーディネーターの未来を担うに相応しいMSである。

Mobile Suits



ZGMF-1000/A1
ガンナーザク
ウォーリア

ZGMF-1000
ザクウォーリア
(ライブコンサート
バージョン)

ZGMF-1001/M
ブレイズ
ザクファントム





